

第51回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和4年8月21日(日)	試合番号	S2	回戦	決勝
種別	中学生	会場	函館アリーナ メインアリーナ Aコート		

Aチーム			Bチーム		
浦添市立神森中学校(沖縄)			川崎市立西中原中学校(神奈川)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
39	21	前半	13	29	
	18	後半	16		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

戦評

男子決勝は、準決勝で九州ブロック対決で粕谷に1点差で勝利した神森（沖縄）と、準決勝の関東ブロック対決で昨年度優勝の東久留米西に勝利した西中原（神奈川）の対戦となった。

序盤4分間で両チーム合わせて8点となる攻撃的な試合展開となった。最初にペースを掴んだのは神森。サイドから6番が2連取すると、8番のカットインで相手の退場を誘う。その後も連取し、前半9分で9-4と5点差をつける。西中原も神森ディフェンスの激しいプレッシャーをかわしながらポスト、サイドで得点を重ね3点差まで詰め寄る。しかし、神森の力強いカットインや思い切りのよいミドルシュートが立て続けに決まり、18-9その差は9点となる。西中原は2番のミドルや5番のポストで応戦するも、前半は21-13と神森の得点力が上回った。

後半立ち上がり、神森は速攻で2連取しさらに突き放すかと思われたが、西中原も2番の力強いカットインなど3連取で反撃。その後、後半も激しく点を取り合う展開となる。後半11分で29-20で神森がリード。神森のディフェンスは後半も足を止めず、激しくプレッシャーをかけ続け、オフェンスではミドルやサイドと多彩な攻撃で点数を重ねる。一方、西中原は3番、5番のポストやサイドの得点で食らいつくが点差を縮めるには至らなかった。結果、最後までアグレッシブなハンドボールを展開した神森が39-29で西中原を下し、全国優勝に輝いた。

記載者名

溝口 仁志